

I. 平成30年度 第1回 新河岸川流域川づくり連絡会 議事要旨

平成30年5月29日(火) 清瀬市 野塩地域市民センター 会議室2

I. 平成29年度 第4回新河岸川流域川づくり連絡会議事要旨

平成29年度第4回新河岸川流域川づくり連絡会議事要旨が承認された。

II. 新河岸川流域川づくり連絡会活動協議事項

1. 平成30年度新河岸川流域川づくり連絡会活動について

■主な意見等

- ・ 勉強会で、「いい川づくりに向けた認識の共有」についての話がほとんどなかったと思う。中小河川整備のマニュアルの話題提供をしてほしい。流域内にある河川横断構造物と関連した話題提供となればよいと思う。
- ・ 現地見学会候補地点の中で、当日見学できない場所について、勉強会で情報提供をしてもらえるとよい。
- ・ 今回は自治体の方の参加があり、意見を直接聞いて有意義だったため、勉強会には市民団体・法政大学だけではなく、流域内自治体の方にも参加してもらい、官学民でいい川づくりに向けた認識の共有をしていきたい。

■決まったこと

- ・ 今年度の連絡会の開始時間は18:00、開催場所は清瀬市内の公共施設とする。

2. 第14回 川でつながる発表会について

■主な意見等

〈現地見学会について〉

- ・ 見学会にてゆっくり・じっくり見学を行えるよう、発表会の開始時刻を早めることや見学地点を2~3施設にとどめるなどの対応を検討したい。
- ・ 見学ルートは徒歩で柳瀬川沿川を巡ることができるよう、設定できるとよい。
- ・ 発表会の会場候補として、中里地域市民センターも挙げられる。

〈学校の取り組みについて〉

- ・ 第四中学校、第八小学校は毎年河川に関する授業があるため、発表候補校として望ましい。

■決まったこと

- ・ 第1回連絡会の意見をもとに、見学会企画案を次回連絡会で提示する。
- ・ 清瀬市内の発表会候補校に発表会への参加を依頼する。

3. 里川86号について

■決まったこと

- ・ 特集記事は、台風襲来時に気をつけるべきことを流域に周知する内容とする。

III. 勉強会

「身近な水質調査と新河岸川流域の水質特性」と題し、法政大学水文地理学研究室による講演が行われ、連絡会メンバーと意見交換した。小寺准教授から流域内において月に1度でも多くの地点で採水調査を継続的に行うことが重要であり、そのためには流域住民の協力が必要であると説明された。

■主な意見と回答

- 月に1度でも水質データを集めることが重要とのことだが、どのように集めればよいか。
→採水して水温測定する程度でよい。(小寺准教授回答)
- 川辺の中学校の科学部が毎日採水をしていると聞いたが、何か連携できることはないか。
→連携は可能である。活動結果を発表できる場にぜひ積極的に参加してほしい。(小寺准教授回答)
- 瀬切れの時の河道にできている水溜りが、伏流水・湧水のどちらに由来するものかを判断する基準を知りたい。
→色々な条件(気象条件など)水温、pH値、ECを繰り返し計測し、比較検証することで水溜りの由来を明らかにすることは可能と思われる。(小寺准教授回答)
- 水量の確保のために粘土層を張っている河川があったが、効果があったのか。
→現在、対策を行った場所で効果を検証している段階である。(東京都回答)
- 効果的な瀬切れ対策はないか。
→さまざまな対策を組み合わせれば、瀬切れ問題は改善に向かっていくと考えられる。例えば、武蔵野台地にある粘土層を、樋のような形で河道の一部に敷き詰めるだけで改善する可能性がある。(小寺准教授回答)

IV. その他

- ・ 次回連絡会は8月下旬に、清瀬市内の公共施設で開催する予定とする。
- イベント
- ・ 6月9、10日 環境フェスティバル(テーマ:生物多様性)@東久留米市役所 市民プラザホール
- ・ 7月21日 空堀川クリーンアップ@東大和市
- ・ 8月5日 親子で魚とり教室@不老川 としとらず公園